



平成 28 年 10 月 17 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 メ タ ッ プ ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 佐 藤 航 陽
(コード番号：6172 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 山 崎 祐 一 郎
(TEL. 03-5325-6280)

個別業績の差異に関するお知らせ

当社は、個別業績予想を開示しておりませんが、平成 28 年 8 月期通期の個別業績につきまして、前事業年度の実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 8 月期通期個別業績と前期実績値との差異（平成 27 年 9 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前事業年度 (A)	百万円 1,964	百万円 △255	百万円 △275	百万円 △301	円 銭 △31.37
当事業年度 (B)	2,986	△230	△471	△859	△68.03
差異額 (B-A)	1,022	25	△196	△557	
差異率 (%)	52.0	—	—	—	

2. 差異の理由

当事業年度の個別業績において、主要事業であるアプリ収益化プラットフォーム事業が前事業年度を上回る推移の実績となり、また新規事業である決済プラットフォーム「SPIKE」の立ち上がりが好調であったことなどを背景に売上高が増加しました。

営業利益及び経常利益においては、主要事業であるアプリ収益化プラットフォーム事業の拡大に伴う人件費増や無形固定資産の取得に伴う償却費の増加、また外貨建債権の評価替え等に起因する為替差損（約 209 百万円）の計上などにより差異が生じております。

親会社株主に帰属する当期純利益においては、平成 28 年 7 月 15 日に公表いたしました「特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ」のとおり、平成 28 年第 3 四半期連結累計期間において、当社の保有する固定資産のうち、提供するサービスの更新に伴い利用見込みの低くなった遊休資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、無形固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失（約 82 百万円）を計上したほか、本日公表した「関係会社株式の減損処理による特別損失（単体）の計上に関するお知らせ」の通り、当社の関係会社である Metaps Pte. Ltd. について、現在の財政状態及び経営成績を勘案し、当社が保有する同社株式について、「金融商品に関する会計基準」に基づき、関係会社株式評価損 298 百万円を特別損失として計上したことなどにより差異が生じております。

以 上